



# らんぼく

だれもが笑顔で安心して通い続けられる学校  
室蘭市立蘭北小学校 学校だより

<学校教育目標>

- 学び合う子
  - なかよくする子
  - 元気な子
- 学校だより第6号  
R5.8.28

## チャレンジする2学期に 校長 小野由美子

夏休みが終わり、元気な子どもたちと2学期の始業式を迎えました。

2学期は、1番長い学期であり、多くの行事・学習・活動を通して、子どもたちが大きく成長する時期です。87日間の2学期を迎えるにあたり、子どもたちには、次のことを話しました。

- ◇得意なこともあれば、あまり得意ではないこともあります。が、「失敗したら困る(イヤだ)からやらない」のではなく「失敗してもいいから、まず、今持っている力を出し切ることを大切にしてほしい。
- ◇学校は失敗していいところであり、困った時には先生がいること。
- ◇校長先生(私)もたくさん失敗してきたこと。

子どもたちは、成功や失敗を通して、多くのことを学んでいきます。「今できることをさらに伸ばす」と同時に、「自分には無理だと思って(思い込んで)避けていたこと」「やりたいと思っていたが勇気が出ずにできていないこと」に、まずは一歩踏み出してほしいと考えています。チャレンジのないところに成功も失敗もありません。

子どもたちは、多くの可能性を秘めています。学校では、授業や行事、日常生活の中で、子どもたちのチャレンジを支える環境づくりや言葉かけにさらに努めていきたいと考えています。そして、チャレンジ後の成功や失敗を次のステップにどのようにつなげていくかを、子どもたちと振り返り、寄り添いながら一緒に考えていくことが、我々大人の役目の一つであると考えています。

ぜひ、ご家庭でも、子どもたちの「チャレンジしようとしている姿」や「チャレンジしている姿」への励ましの言葉かけをお願いいたします。

<1学期 子どもたちの委員会活動から>

学級委員会では、声をかけてもらってうれしかった「あったか言葉」のお礼を用紙に書き、相手に渡すという取組を全校で行いました。「ありがとう」「大丈夫?」「一緒に~しよう」など、たくさんの交流があったようです。短い言葉ですが、心が温かくなったり、勇気づけられたりしたようです。「あったか言葉」をかける行動はもちろん、相手の気持ちを受け止めて、お礼を伝える行動ができる子どもたちが、たくさん見られたことを大変うれしく思います。

みんなが気持ちよく生活するために、子どもたちが進んで考え実行している蘭北小の委員会活動、とても素晴らしいです。

